

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局(43) 国際公開日
2002年3月21日 (21.03.2002)

PCT

(10) 国際公開番号
WO 02/22844 A1

- (51) 国際特許分類: C12P 13/04, 17/10, (YASOHARA, Yoshihiko) [JP/JP]: 〒670-0942 兵庫県姫路市日出町3-7-2-605 Hyogo (JP) 長谷川淳三 (HASEGAWA, Junzo) [JP/JP]: 〒674-0057 兵庫県明石市大久保町高丘2-13-4 Hyogo (JP).
- (21) 国際出願番号: PCT/JP01/07974
- (22) 国際出願日: 2001年9月14日 (14.09.2001) (74) 代理人: 朝日奈宗太, 外(ASAHI, Sohta et al.): 〒540-0012 大阪府大阪市中央区谷町二丁目2番22号 NSビル Osaka (JP)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ: 特願2000-281533 2000年9月18日 (18.09.2000) JP (81) 指定国 (国内): JP, MX, SG, US.
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 鐘淵化学工業株式会社 (KANEKA CORPORATION) [JP/JP]: 〒530-8288 大阪府大阪市北区中之島三丁目2番4号 Osaka (JP). (84) 指定国 (広域): ヨーロッパ特許 (AT, BE, CH, DE, ES, FR, GB, IE, IT, NL).
- (72) 発明者: および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 八十原良彦
- 添付公開書類:
— 国際調査報告書
— 明細書とは別に規則13の2に基づいて提出された生物材料の寄託に関する表示。
- 2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。



162162

(54) Title: OPTICALLY ACTIVE FLUOROPHENYLALANINE DERIVATIVE AND PROCESS FOR PRODUCING THE SAME

(54) 発明の名称: 光学活性含フッ素フェニルアラニン誘導体およびその製造法

(57) Abstract: (R)-N-(aminocarbonyl)fluorophenylalanine; and a process for producing (R)-N-(aminocarbonyl)fluorophenylalanine, characterized by treating 5-(fluorobenzyl)hydantoin with either an enzyme having the ability to selectively hydrolyze the (R) isomer or a microorganism having that ability. This compound is utilizable as a material for an optically active (R)-fluorophenylalanine derivative which is useful as a material for medicines, etc.

(57) 要約:

(R)-N-(アミノカルボニル)-フルオロフェニルアラニン、および、5-(フルオロベンジル)ヒダントインを、R体を選択的に加水分解する能力を有する酵素もしくは当該能力を有する微生物で処理することを特徴とする(R)-N-(アミノカルボニル)-フルオロフェニルアラニンの製造法。この化合物は医薬品などの原料として有用な光学活性(R)体フルオロフェニルアラニン誘導体の原料として利用可能である。

WO 02/22844 A1



G00002